

ORACLE API CATALOG

オラクル環境および非オラクル環境から API を簡単に収集して公開

機能

- 社内および社外の API の表示
- Oracle SOA Suite および Oracle Service Bus との密接な統合
- REST サービスおよび SOAP サービスを自動的にカタログに収集
- API の編集および公開の効率化
- Oracle API Catalog コンソールによる API の検出と理解
- JDeveloper の Oracle API Catalog からの API の検出、理解および使用
- API のランキングおよびレビューの提供
- API の追跡の採用

おもな利点

- API をエンタープライズ全体で包括的に可視化することにより、冗長性が最小限になり、再利用が最適化され、ROI が向上します。
- API を Oracle SOA Suite および Oracle Service Bus からワンクリックで収集することにより、Oracle API Catalog の移入を簡素化します。
- オラクル環境と非オラクル環境の両方から API を収集できることにより、社内および社外の API を可視化するためのシングルソースが提供されます。
- Oracle JDeveloper との統合により、開発者は Oracle API Catalog から API を簡単に検出して使用できます。

現在、IT によって、人、プロセスおよびテクノロジーが動的な分散環境で接続されており、デスクトップやモバイル機器などの複数のチャネルが提供されています。現在の経済では、革新をもたらし、競争力を発揮するための俊敏性が求められる一方で、複雑さと規模はこれまでに例を見ないほど増加しています。リスクを軽減するために、企業は使用可能な API を表示できるようにし、API の採用状況を追跡する必要があります。

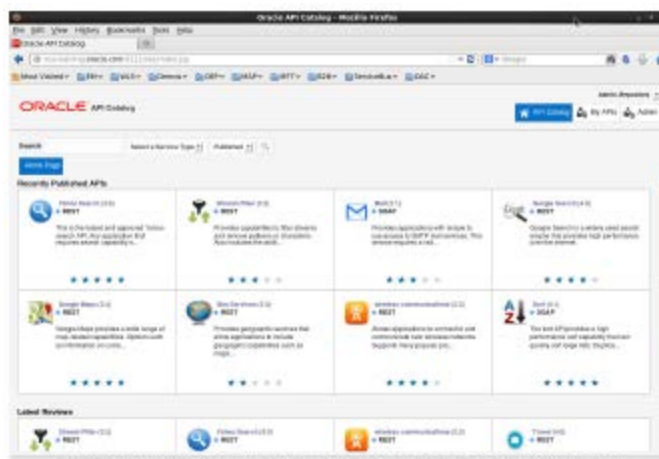
API の収集と公開

モバイル・アプリケーションでは、開発環境で登録されたエンタープライズ・システムに加えて、アプリケーション・プログラミング・インタフェース (API) がますます使用されるようになっていきます。利用できる API の数は、日に日に増加しています。モバイル機器やコンピューティング・プラットフォーム (Web、タブレット、スマートフォン、TV、ビデオ・ゲーム・コンソール、車、他の家庭向け機器 - モノのインターネット) が増え続けることにより、API の使用が増加します。企業が作成して使用する API の数は増加しており、これらの API の管理と可視化が重要になってきています。

Oracle API Catalog を使用すると、企業は API のカタログを簡単に構築し、アプリケーション開発のためにこれらの API を表示させることができます。Oracle API Catalog には、API アセット向けのシンプルなメタモデル、API を Oracle API Catalog に移入するための自動化、およびユーザーが Oracle API Catalog で API を検索して API の詳細を理解し、ユーザーのアプリケーションに対する API の適応を評価できる機能が含まれます。

Oracle API Catalog は、包括的な自動化機能によって強化されており、プロセスを効率化し、再利用を最適化して API の採用を促進します。このソリューションでは、以下によって成功の基盤が確立されます。

- Oracle API Catalog の移入を自動化する機能の提供
- API の簡単な編集および公開の実現
- JDeveloper における API 消費の促進



図：Oracle API Catalog のホーム・ページ

ORACLE API CATALOG

一元化されたカタログ、API の可視性、再利用、および採用により、ビジネス価値を構築し、成功を実現するための基盤が提供されます。

関連製品

Oracle SOA Suite

Oracle Service Bus

おもな機能

Oracle API Catalog は、エンタープライズ・レベルの API の可視性を実現しながら、共通の課題を克服し、IT の専門家が広範なエンタープライズ全体の中で作業する方法を根本的に変えるために次の機能を利用します。

エンタープライズの可視性

一元化された API のカタログを通じて、ソースに関係なくすべての API が表示されるようにします。

必要とされるメタモデル

標準の API 向けメタデータ・モデルでは、API の検索、理解、使用に必要な技術情報および技術以外の情報が提供され、必要以上に複雑ではありません。

自動イントロスペクション

Oracle SOA Suite プロジェクトと Oracle Service Bus プロジェクト、およびデプロイされた他の API の自動イントロスペクションを有効にし、Oracle API Catalog を迅速に移入します。

API メタデータの簡単な編集

Oracle API Catalog API Editor を使用すると、API 向けのメタデータの追加と更新を簡単に実行できます。API の記述情報を提供して他の外部サポート情報へリンクさせることにより、API の検索、理解および使用が容易になります。

API の簡単な公開

API 向けのメタデータが完成すると、API は Oracle API Catalog API Editor から簡単に公開でき、開発者が API を検索して使用できるようになります。

API の検索と理解

Oracle API Catalog 検索を使用して興味のある API を検索し、API Detail ページを調べて API への理解を深めることができます。

興味のある API の追跡

Oracle API Catalog の "My APIs" ページを使用して、興味のある API を特定できます。

API に関するフィードバックの提供

"My APIs" ページに API のランキングとレビューを提供し、他のユーザーによるその API のランキングとレビューを表示します。

Oracle JDeveloper との統合

開発者は、Oracle JDeveloper 開発環境 (IDE) 内から API を直接検索、理解、および消費できます。

お問い合わせ先

Oracle API Catalog について、詳しくは oracle.com を参照するか、+1.800.ORACLE でオラクルの担当者にお問い合わせください。



Oracle is committed to developing practices and products that help protect the environment

Copyright © 2013, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved

本文書は情報提供のみを目的として提供されており、ここに記載されている内容は予告なく変更されることがあります。本文書は、その内容に誤りがないことを保証するものではなく、また、口頭による明示的保証や法律による黙示的保証を含め、商品性ないし特定目的適合性に関する黙示的保証および条件などのいかなる保証および条件も提供するものではありません。オラクル社は本文書に関するいかなる法的責任も明確に否認し、本文書によって直接的または間接的に確立される契約義務はないものとします。本文書はオラクルの書面による許可を前もって得ることなく、いかなる目的のためにも、電子または印刷を含むいかなる形式や手段によっても再作成または送信することはできません。

Oracle および Java は Oracle およびその子会社、関連会社の登録商標です。その他の名称はそれぞれの会社の商標です。

Hardware and Software, Engineered to Work Together

ORACLE®